



# 保健師職能だより



平成29年10月

平成29年度滋賀県中堅期保健師コンサルテーション研修会が  
始まりました！



『中堅期コンサルテーション研修！レベルアップ目指してがんばっています！』

平成24年度より県からの委託を受けて、概ね10～20年目の保健師を対象に滋賀県看護協会が開催しています。

9名の研修生は、健康課題から実践テーマを持ち、日本看護協会での研修を終えられた講師の先生方よりアドバイスを受けながら職場の仲間とともに話し合ったり保健師活動を実践したりして政策提言ができることを目標にしています。

研修では、講師のアドバイスに困ったり、悩んだりすることがたくさんありますが、職場でも考える機会をもって、みんなでレベルアップしていきましょう。



「地域包括ケアシステム推進に果たす中堅保健師の役割」研修会を開催しました！

中堅前期・中期保健師4年目～15年目が対象で、幅広い年代から10名の参加者でした。講師は、滋賀医科大学医学部看護学科・坂東春美先生で、5回のグループワークを通して自分のコアとなるものを深めるための研修となりました。

## ワーク①『自己紹介』

- ・発表ですごいと思う事、ストレンクスを見つけよう！何を自分が感じたかを忘れないように。

## ワーク②『公衆衛生とは何か』

- ・看護学、社会学、公衆衛生学の知識を用いて集団の健康増進、保護を図る活動をするのが保健師。求められている活動は何かを確認して、予防活動を考えていくように。

## ワーク③『中堅期にある自分の役割』

- ・行政で働く保健師が増えているのは社会の要請。この激動の時代に先輩保健師はキャリアアップしている。現任教育が大切。保健師だけでなく、住民の人材育成にも着眼するように。

## ワーク④『地域包括ケアで保健師として大切なことは何か』

- ・地域包括ケアシステムの目標は「自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる」こと。その人がどうありたいのかがベースにないと自主性主体性が生まれず、行動変容にもつながらない。ここにアプローチするのが保健師。

- ・保健師は公助の保持しつつ、自助、互助にも働きかける。

## ワーク⑤『明日から自分はどう保健師活動をするのか』

- ・自分へのポジティブなメッセージを添えて。





### 【アンケート結果】

- 一方的な講義でなく、そのつど自分の考えを修正しながら学ぶことができて良かった。
- 考えを自分の言葉にすることが大切と感じた。
- 業務担当ではあるが、住民の声に耳を傾け、保健師の役割として大切なことを念頭において、業務を展開していきたい。
- 地域包括ケアシステムにおける保健師の役割で、課題だけでなく目標を共有することが大切ということ。所内でも目標からしっかり共有していきたい。



### 職能委員会よりお知らせ



#### ☆統括保健師会議および研修会☆

日時：平成 30 年 2 月中旬（予定）  
場所：滋賀県看護研修センター  
対象：統括保健師、統括保健師補佐  
内容：統括保健師の役割を果たすために  
講師、事例発表：調整中



#### ☆保健師職能集会☆

日時：平成 30 年 3 月 18 日（日）10：00～15：00  
場所：滋賀県看護研修センター  
内容：(仮)キャリアラダーを活用した人材育成計画について  
講師：日本看護協会保健師職能委員長 中板育美 氏



**皆さんの予定を**

**空けておいてください！**



「産休育休等保健師代替職員確保に関する調査」の集計を行っています。  
皆様、ご協力ありがとうございました。

**看護協会、会員募集中！**  
**職能意識をもって、一緒に頑張っていきましょう！**